

琉球大学病院「高気圧治療センター」が復活しました！

～大型治療装置が完全復旧し、新たに1人用治療装置も2台入りました～

昨年(2015年)の台風で大型治療装置の一部が破損し、この治療を必要とされる方々さらに医療機関の皆様方には大変なご迷惑をおかけしておりました。改めてお詫びを申し上げます。治療装置は完全復旧し、昨年11月から治療を再開しております。

この治療法はさまざまな病気に用いられており、潜水病(減圧障害)、軟部組織の重症感染症やガス中毒など命の危険があるもの、腸閉塞、網膜動脈閉塞症、脳梗塞、脊髄麻痺や放射線の副作用などの重症なもの、さらに多いものでは糖尿病や高齢者にみられる皮膚潰瘍、あるいは突発性難聴などがあります。これら以外にも創(キズ)の治りが良くなりますので、形成外科あるいは高齢者やリウマチなどの方々の手術後に用いられています。

特殊救急・集中治療ないし先進医療として、多少ともお役に立てればと考えています。どうかよろしく願いいたします。

(高気圧治療部 合志清隆)



復旧した大型治療装置



新設された1人用治療装置

琉球大学医学部付属病院 高気圧治療部の合志清隆部長が高気圧酸素治療の有用性などを説明した。医療、ダイビング業などの関係者約30人が参加した。減圧症は体内に窒素が蓄積することで引き起こされ、かゆみや関節痛、重症になると手足のまひ、意識障害の症状に陥り、死亡する事例もある。

井上さんは琉大勤務時代に担当した減圧症II型51人(調査期間1989～2006年)を対象とした分析結果を報告した。素潜り漁や潜水作業士が減圧症の症状を自覚した際、再度潜水して自力で対処する「フカシ」を行うことで逆に体内の窒素が増え、悪化する事例などを説明した。

井上さんは「発症から2時間以内が治療効果は高いとも言われているが、4時間以降に訪れる人も多い。正しい知識の啓発が必要だ」と指摘し、事故発生時には医療機関との適切な連携を呼び掛けた。

琉球大学医学部付属病院 高気圧治療部の合志清隆部長が高気圧酸素治療の有用性などを説明した。医療、ダイビング業などの関係者約30人が参加した。減圧症は体内に窒素が蓄積することで引き起こされ、かゆみや関節痛、重症になると手足のまひ、意識障害の症状に陥り、死亡する事例もある。

井上さんは琉大勤務時代に担当した減圧症II型51人(調査期間1989～2006年)を対象とした分析結果を報告した。素潜り漁や潜水作業士が減圧症の症状を自覚した際、再度潜水して自力で対処する「フカシ」を行うことで逆に体内の窒素が増え、悪化する事例などを説明した。

井上さんは「発症から2時間以内が治療効果は高いとも言われているが、4時間以降に訪れる人も多い。正しい知識の啓発が必要だ」と指摘し、事故発生時には医療機関との適切な連携を呼び掛けた。

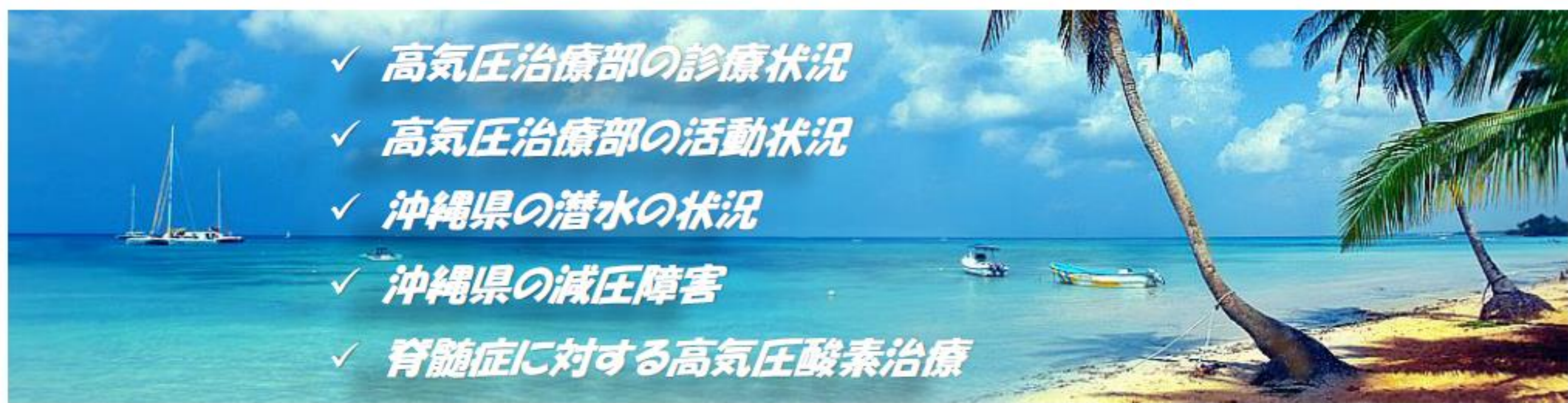
琉球大学医学部付属病院 高気圧治療部の合志清隆部長が高気圧酸素治療の有用性などを説明した。医療、ダイビング業などの関係者約30人が参加した。減圧症は体内に窒素が蓄積することで引き起こされ、かゆみや関節痛、重症になると手足のまひ、意識障害の症状に陥り、死亡する事例もある。

井上さんは琉大勤務時代に担当した減圧症II型51人(調査期間1989～2006年)を対象とした分析結果を報告した。素潜り漁や潜水作業士が減圧症の症状を自覚した際、再度潜水して自力で対処する「フカシ」を行うことで逆に体内の窒素が増え、悪化する事例などを説明した。

井上さんは「発症から2時間以内が治療効果は高いとも言われているが、4時間以降に訪れる人も多い。正しい知識の啓発が必要だ」と指摘し、事故発生時には医療機関との適切な連携を呼び掛けた。

高気圧医学セミナー

連絡先: 琉球大学病院
高気圧治療部(098-895-3331)



- ✓ 高気圧治療部の診療状況
- ✓ 高気圧治療部の活動状況
- ✓ 沖縄県の潜水の状況
- ✓ 沖縄県の減圧障害
- ✓ 脊髄症に対する高気圧酸素治療

演者	砂川 昌秀	琉球大学病院 高気圧治療部
	村田 幸雄	国際潜水教育科学研究所, 琉球大学
	井上 治	江洲整形外科クリニック, 琉球大学
進行	合志 清隆	琉球大学病院 高気圧治療部



日時: 12月22日 17:30～19:00
場所: 臨床講義棟 1階 小講義室

(琉球新報)